



ZIP ファイルの展開方法



tokuyo_c.zip

圧縮状態



tokuyo_c

展開(解凍)済

圧縮フォルダの見分け方

左側は、圧縮されたままの状態のアイコンの表示例。
右側は、展開(解凍)済みの状態です。

zip 形式で圧縮されたファイルの見分け方としては、ファイルのアイコンにチャックがついている。ファイル名の最後が「.zip」となっている。等があります。

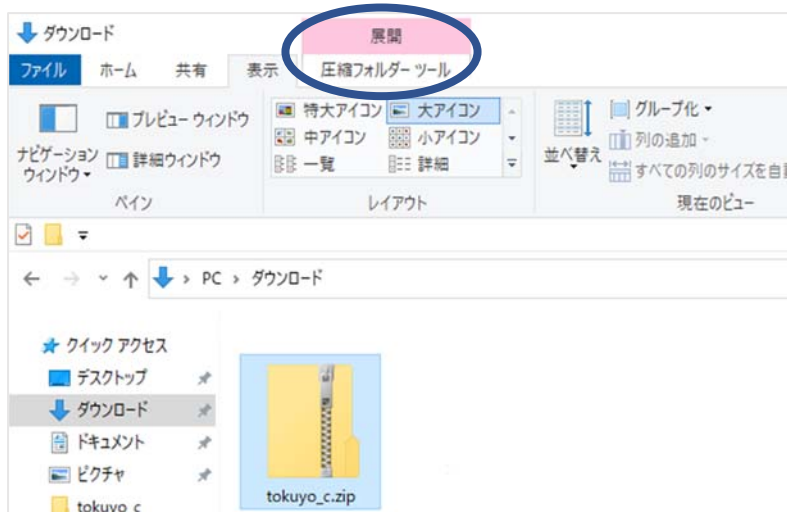
※この状態でファイル内のデータ操作した際にエラーが起きてしまう。

◆ダウンロードした zip 形式のファイルを展開（解凍）する

1.ファイルを選択し「すべて展開」を行います。

「ダウンロード」や「ドキュメント」フォルダにデータファイルがある場合

(1) ファイルを選択すると【展開】「圧縮フォルダツール」タブが追加されます。

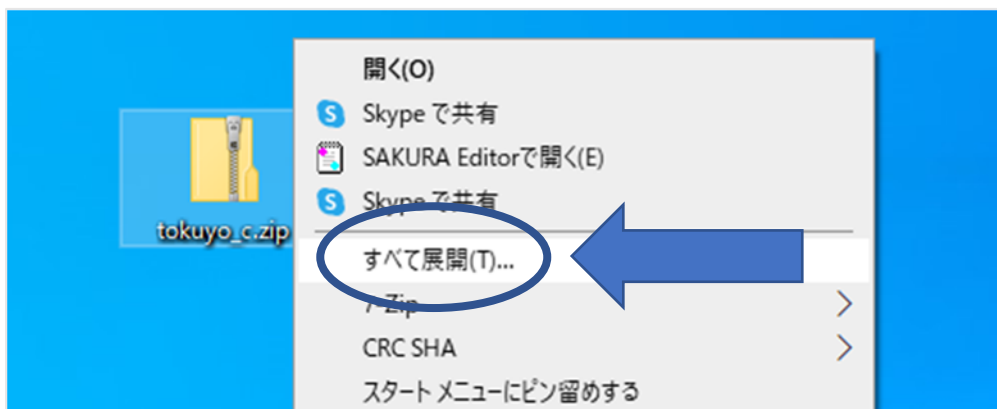


(2) 「圧縮フォルダツール」メニューの右側にある【すべて展開】を選択します。



デスクトップにデータファイルがある場合

- (1) ファイルアイコンを選択し、右クリック(1回)したら出てくるメニューの中から【すべて展開】を選択します。



2. 「参照」ボタンをクリックし保存先を選択し、「展開」ボタンをクリックします。
※保存先はデスクトップや「ドキュメント」フォルダを指定しておくとうわかりやすいかと思われます。



ファイルが展開されると【展開】「圧縮フォルダツール」タブの表示が消えます。
これで zip ファイルの展開は完了です。

◆備考

お問い合わせの中に、「データをまとめて入れてあるフォルダが zip ファイルじゃないのに Excel を開いて「コンテンツの有効化」を押してもセキュリティエラーが表示され操作できない」というものがあります。

原因の一つとしては、zip ファイルを正しく展開していない状態でフォルダ内のデータを別のフォルダにコピーし、その Excel ファイルを開いているというということが考えられます。

別で作ったフォルダ自体は圧縮されていない為、フォルダを選択しても【展開】「圧縮フォルダーツール」タブは表示されません。そのため、データ本体は圧縮されている状態のままなのに、すでに展開していると勘違いしてしまうという状態です。

解決策としては、調査書のデータをダウンロードし直していただき、再度ファイルの展開を行ってください。

なお、ファイルを移動またはコピーする際は、「tokuyo_c」や「jido_c」などのフォルダごと移すようにしてください。